

作成（2024 年度）

簡易版 TP（ティーチング・ポートフォリオ）

氏名	望月 庸平
所属機関名	獣医学部 獣医学科
職位	講師
在籍年	7 年

教育の責任

獣医学科に属し、臨床獣医学（犬や猫の循環器疾患やその検査や治療）を中心とした教育・研究活動を行っている。教育活動としては獣医画像診断学、獣医呼吸器・循環器病学などの臨床系科目、小動物内科学実習や総合参加型臨床実習などの臨床実習、チーム獣医療学や獣医高度臨床学などのアドバンスド科目に加え、獣医保健看護学科の臨床動物看護学各論 A などの科目も担当している。また、獣医学教育病院では診療（主に犬や猫の循環器内科）に従事しており、研修獣医師の指導や地域獣医師の卒後教育にも寄与している。

教育の理念

獣医師に求められる知識は幅広く、講義では単一の科目であってもその科目内で完結する内容ではなく、様々な科目の知識がそれぞれに関係している。特に臨床獣医師にとっては、体系的な知識が求められることから、表面的な用語を覚えるような学習ではなく、学生にはその本質となる仕組みを理解してもらいたい。

教育の方法・方針

講義では、疾患の病態生理や治療薬の作用機序などに重点を置いており、病態生理などを理解するために必要な内容であれば、他科目の内容についても解説するよう心がけている。また、物事の仕組みを理解することは視覚的にイメージできることと類似であると考えており、極力図表や画像を多く用いた授業資料を作成するようにしている。

また、実際に診療した症例のデータを提示することで、学生に担当科目への興味を促し、講義中に提示した知識に基づきどのような診療を実施しているのかをイメージしやすいようにしている。

教育の成果

授業アンケートでは多数の学生から「この分野の理解が深まった」、「この分野への興味、関心が高まった」との評価を得ており、同アンケートの総合評価では「満足」もしくは「ほぼ満足」と評価されている。

今後の目標

講義資料について、より新しい知見を取り入れ、尚且つ内容を理解しやすいように適宜修正を行っていく。また、学生から要望のあった動画教材などの制作にも取り組んでいきたい。

獣医学科という特性上、獣医師国家試験合格が一つの大きな目標ではあるが、その先に獣医師として社会で活躍できる人材を育成していきたい。

根拠資料

- ・ 2020-2024 年度授業アンケート
- ・ 2020-2024 年度 授業資料（獣医画像診断学、獣医呼吸器・循環器病学、動物臨床看護学各論 A）